

## 2016年北海道森旅ツアーレポート

### 帯広市 やなせけいこ

今年も北海道公演ができました。

昨年、帯広で、子どもたちの遊びの場の一つの様な感じで「音」のワークショップをしました。

その流れもあって今回の公演です。

前日、舞鶴からフェリーで小樽に上陸し（少々揺れましたが）、車で3時間と少し。北海道はやっぱり広い。移動もなかなかです。雪が心配されましたが、一度だけ、持って行ったチェーンのお世話になっただけで、お天気に恵まれ、お客様もたくさんいらっしゃって下さいました。

デフパペットの人形劇の公演には、大人の方もたくさん来て下さいます。その大人の方の反応がとても良かった。要所要所で声をだして笑ったり、大きな拍手をしてくださったり。そんな雰囲気の中で、子どもたちも一緒に楽しんでくれていたようです。

この公演の1週間前に帯広ろう学校で「空き箱人形を作る」ワークショップをしたばかりだったので、ろう学校の子どもたちも何人か見に来てくれて、嬉しかったですねえ。良い公演でした。



### 鈴木香澄 札幌市



この夏に入団して初の旅公演が私の生まれ育った北海道！！ということで、嬉しさとなな緊張感で始まりました札幌公演！公演場所となった『市民活動プラザ星園』は元々体育館として使われていた場所で、その為とても音の反響が良く森旅の中で使われる打楽器のドンドンという振動はダイナミックに体に伝わりますし、ステージ上を走り回る自分達の足音さえも劇中の音楽の一部のように色々な音や振動が心地よく響いて本番中はそんな事も楽しみながら演じる事が出来ました。前日にはお世話になった手話サークルの方々との交流会があり、主催者さんがマッキーさんの席を用意して下さいてメンバー全員が感激でした。今回は急遽ラジオでPR活動なども経験させて頂き、またひとつ大切な思い出が増えました！お世話になったみなさまどうもありがとうございましたー！



## 釧路市 観本トオル

釧路で……あめ雨

開演 18:30

主催の釧路演劇協議会の代表 片桐さんから挨拶して頂きました。

挨拶が途中で止まった……

ん??

片桐さんが、手話通訳の大里となんか◎☆@#\*しゃべっていました。

公演後の打ち上げ交流会で聞いた話し…

片桐さんが、観客の前で10/30に亡くなったメンバーの牧野くんの事を  
言っていていいか？言わない方がいいか？ずいぶん悩んで迷っていたそうです。  
片桐さんのタブレットに挨拶の原稿に書いてありましたが……省いていました。

でも、挨拶を終わろうと思ったときに、言いたくて言いたくなかったそうです。

デフバベメンバーは、いま7人いるけど、ほんとは、8人おられます…。

片桐さんは、言いました。デフバベメンバーは、袖で片桐さんのお話しを見えています。

そうだ。舞台上に8人！ マッキーと一緒に。森旅はじまり！

\*北海道ツアーから帰ってしばらく、いいニュースが来ました。片桐さんが、創新郷土芸術賞 演劇部門で初の個人受賞に輝きました。おめでとうございます！



## 深川市 大里千尋



深川公演の会場は拓殖大学北海道短期大学内のホール。

搬出搬入にはたくさんの学生さんたちが手伝ってくれました。

舞台側の真正面の壁には大きな目の絵が貼られていて、聞くところ  
によると、学生さんたちでつくる“拓大ミュージカル”の稽古の時に、  
お客様に観られていると意識するために貼られているのだとか。

次は演じる側になるのですね！頑張れー！

手話の会が休会している深川にとって、今日の公演が若い人が手話  
に興味を持つきっかけになっていたら嬉しいな～と思いながら、交流  
会の自己紹介で学生さんたちが手話で自分の名前を紹介している姿  
をみていました。

## 森旅公演のウラでは……

### 新得町支援公演 鈴木文

今回の北海道ツアーではたまたま好運が重なって、去年お邪魔した新得町の養護老人ホームやすらぎ荘を訪問し、利用者の皆さんと交流させて頂きました。8月末の台風10号の被害でこの施設の皆さんも大変な思いをしたということを知っておりました。ツアーを利用して、皆さんに自分たちが何か出来る事はないか、とメンバーで相談し、人形劇の公演を観ていただくことにしました。出発直前のお願いだったにも関わらず、快くデフバベを受け入れて下さり、大変嬉しかったです。当日は「一寸法師」をご覧いただき、その後「びよんとうさぎ」の人形を皆さんに体験させて頂きました。いつも思うことですが、皆さんの笑顔で公演した私たちが元気をいただくのです。また皆さんの笑顔に出会える日を楽しみにしています！

### 音のワークショップ やなせけいこ



今回の北海道公演中、2回「音」のワークショップをしました。釧路公演（夜）の午前中と札幌公演の前日。

どちらも可愛らしいカフェでのワークショップで、それぞれ10人から15人位集まって、ひしめき合って楽器を演奏しました。（「音」ワークショップはこんな場所でもやるんですよ～）

釧路は大人の方が中心で、札幌は大人の方と聞こえる子、聞こえない子が混ざっていました。

子どもと一緒にいっしょだと、つい子どもの様子を見ているだけになってしまいがちな大人の方にも恥ずかしながら楽器を演奏していただき、太鼓や三味線など自分の好きな楽器を見つけたり、小さな人形劇に音をつけて遊びました。参加して下さった皆さんが楽しそうにして下さっていたのでホッとしています。

音段はカフェなので、ワークショップの為に椅子やテーブルを動かして下さったり、終わったあと美味しいコーヒーを入れて下さったり、皆さんお世話になりました。また次回があることを願って……。



## 表現のワークショップ in 釧路 善岡修

釧路とはまたちょっと離れた地ですが、  
僕がデフ・パペットシアター・ひとみに入団して初めての旅公演の一番最初の地が、道東の別海町でした。  
北海道ならではの地平線の向こう側まで伸び続けるアスファルトを延々と走り続けて、まだ着かない会場にドキドキしたものでした。  
新人だった頃のドキドキした事は、年月が経っても、思い出の北海道に来ると、解凍されたようにドキドキします。  
今回もうひとつのドキドキがありました。釧路という地は、北海道公演の前に天国に行ってしまった牧野ことマッキーの母が釧路出身だということ、そして僕の母も釧路出身であること。  
マッキーの母と僕の母も同じ釧路聾学校の同級生であるということ。釧路出身であるマッキーの母にゆかりのある地なので、僕も一緒に釧路に来ることを楽しみにしていました。  
釧路公演の前に釧路鶴野支援学校へワークショップに行ってきました。釧路ろう学校が、児童減少によって閉校になりましたが、3年前に幼稚部から中学部まで聴覚の児童対象のクラス。高等部に知的障害という。学校の名前や所在地は変わりましたが、中身は、聾学校のシステムを引き継いでます。  
釧路のろうの子供達と楽しく身体表現ワークショップを終えた後に、先生から「母の名前はあるかい？」と過去の卒業生の名簿を見せてくれました。  
すると、ありました！  
旧姓の名前で母の名前があったこと、牧野の母もありました！  
僕とマッキーの母が中学生の頃の集合写真に一喜一憂し、そこにマッキーがいたら、一緒に喜んでたことでしょう。  
釧路公演の劇場の壁面にでっかいタンチョウツルが、飾られていて、ここ釧路では渡り鳥のタンチョウツルの生息地で知られる。タンチョウツルの飾られたこの釧路の会場で、僕らはみなさんの心に残る思い出となる公演と共にタンチョウツルの如く渡ってきたんだなあ。また、今度も釧路にも飛んでいきますね。



## 3か月に一度のこんにちは

by 榎本トオル

初夏に、森旅の次に  
新作品に「河童」(提案)が、決まってからしばらく、  
25年前の「さくらものがたり」が懐かしい…思い出します。  
さくらものがたりは  
僕が初めて参加した作品です。  
デフパペに入ったばかりのころ、  
手話が難しくて、台本から自分で表現を考えると、何もかも初めてで、ショック。  
いつも朝1時間早く来て庄崎さんと二人で集中稽古していました。  
人形劇の稽古は初めてであれこれ「さくらものがたり」から学ぶこと多かったです。  
1年生の気持ちでした。  
さくらものがたりには河童のお話がでています。  
さくらものがたりの河童は、お金儲けの好きなずるい人間に沼に毒をまかれて、死んでしまいます。  
人間の欲望の犠牲になった河童たちのお話し。  
河童は本当にいるのかな。想像の中のいきものなのかもと思います。  
もしかしたら河童は何かを例えてるんじゃないかな、と思います  
昔話で出てくる河童のお話しでは、ずるい人間に河童が騙されるというお話がたくさんでできます。  
でも、河童は信じる。そんなお話が忘れられません。  
今、2018年2月公演に、「河童」のデフパペならではの人形芝居の新作を進める準備が始まっております。  
「河童」のお話しは、日本全国だけでなく海外にもいろいろなお話しも、ものがたりもあります。  
どんなお話し、どんなものがたりに、デフパペの「河童」人形芝居になりますでしょうか？  
「河童」の新作のデフパペの人形芝居が楽しみです。

## 新メンバー紹介

すすきがすみ

みなさま初めまして。  
新人のすすきがすみと申します！！  
今年の夏、大阪で公演した『森と夜と世界の果てへの旅』から参加させて頂いております。

入団する前は音楽の専門学校を卒業し、約12年間都内のライブハウスやライブBarなどで歌をうたっていました。  
そんな私がなぜ、デフ・パペット・シアターひとみに入団したかといいますと、きっかけは色々あるのですが入団を決めた最大の理由は、デフ・パペット・シアターひとみの“きこえる人ときこえない人がいっしょにつくりあげていく世界でたったひとつの人形劇団”という言葉が心に響いたからです。

私が入団？笑  
と、最初こそ結びつかなかったものの、私は聴覚障害者です。  
右耳が全く聴こえません。

なによりも素敵だなと感じたのは年齢も性別も国籍もしょうがいも関係なく、小さな子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで家族全員が楽しめる人形劇を日本各地をまわって夢を届けている、そんなデフパペの一員になりたいと強く思いました。

まだまだヒーヒー言いながら公演している私ですが公演終わりのロビーのお見送りの時間がとても幸せです☆

これからこの先たくさん笑顔にお会い出来ますことを楽しみにしております！！  
今後ともよろしく願いいたします！



画・榎本トオル





by 大里千尋

# 日々制作..



by 吉村衣世

やなせ「そんなに大きな音で聞くと耳が悪くなるよー！」

善岡「もう手遅れー！」

大里「あはははー！」

上は、移動中のトラックの中でよくある会話。

4月1日のエイプリルフールでは、善岡に「僕は実は耳が聴こえます！」と嘘をつかれたことも。

デフパベでの日常を外部の方にお話しをすると、「笑いにしているんだね」と驚かれます。

デフパベにとっては普通、でも一步外の世界に出ればそれはとても新しい感覚で受け取ってもらえるようなことなんだ、

と小さな出来事から気が付くことが今までにもありました。

私自身、入ったばかりのころは「いいのかな？」とか思っていたはず。

自分の普通が段々変化していることに嬉しさを感じています。

デフパベは2018年2月に初演を向かえる予定の新作に向けて動き出しています。

今回のテーマは「共生」。演出家の方と対話しながら、日常のなにげない会話、いいことも、すれ違ったこと、今迷っていることも・・・今までにあったいろいろな体験を掘り起こして、

そこで生まれたものを作品に生かすことが出来れば、今までにない新しい表現が生まれるのではないかなと思っています。

デフ・パペットシアター・ひとみから提案する『共生』とは？新作を乞うご期待です！

気が付けば今年もあと少し、少し早いですが一昨年振り返るといろいろな事がありました。

今年、初めて地方担当となって地域の方と会ったりお話をさせていただいたり、上演で訪れるようになりました。

どこの地域も色んな人がいます。

私の育った地域も、障害のある人、言葉が違う人、朝から夜までお酒ばかりの人、いろいろな人がいました。

日頃気になってはいるけれど実際に声かけをきかかけはありません。でも、お芝居と一緒に観ることがきっかけになります。

暗闇や大きな音の苦手な自閉症のお客さんも、劇場での観劇時にすごく楽しんで反応してくれたこと。盲ろうの方が通訳さんを通してお芝居を観てくれて、うんうん、と語りながら笑顔で楽しんでくれたこと。来てくれて嬉しい気持ちと共に、でも劇場まで導いてくれた地域の人たちがいたからこそそうやって出会えたことに気が付きます。デフパベがやるからおいで！って、一人一人に、声をかけてくれた人がいたのです。

お芝居には正解も不正解もなく、みんなお芝居を楽しむ権利があります。うちの地域にはこんな人がいるのか、この人話してみると魅力的だなあ、そんなふうにお芝居を観てるんだなあとか、そんなところからも日常の世界が広がってゆく新しい出会いとなるんだなあと思います。

来てくれた皆さんも、出会いを作ってくれた皆さんも、本当にありがとうございました。

来年もそんな出会いがたくさん生まれる事を願っています。

## 公演スケジュール

### ●森と夜と世界の果てへの旅

2016年12月17日 千葉県柏市アミュゼ柏

12月25日 秋田県鹿角市十和田市民ホール

2017年3月11日 京都府京都教育文化センター

3月25日 富山県富山市 サンフォルテ

3月27日 新潟県長岡市 アオーレ長岡

5月21日 埼玉県入間市産業文化センター

### ●はこ/BOXES ~じいちゃんのオルゴール♪~

文化庁の主催する「平成29年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-」に選ばれました。実施地域は山形県 福島県 栃木県 群馬県 埼玉県です。

### ●稲むらの火

2016年12月12日 大阪府浄るりシアター

### ●一寸法師とお楽しみ交流会

2016年12月11日 徳島県阿波十郎兵衛屋敷

12月18日 神奈川県井田小学校

2017年2月19日 神奈川県横須賀美術館

3月3日 東京都大田区行学ホール

追加・変更される場合もありますので、詳しくはデフパベ事務所にお問い合わせ下さい。

## その他の活動

### 【2016年度キリン福祉財団事業手話で詩をよむワークショップ】

平塚ろう学校、沼津ろう学校、霞ヶ浦ろう学校、坂戸ろう学校、大塚ろう学校

### 【善岡修ワークショップ・講演会】

12/10 長野県飯田市 WS

1/13 東海中学校 WS、1/21 高槻市講演会

2/5 東京都江東区 WS、2/12 北海道室蘭市

3/5 山梨県甲府市 WS、3/8 神奈川県二宮町 WS

3/19 富士吉田市 WS

善岡修、NHK「みんなの手話」に出演中！

毎週日曜日午後7時30分～7時55分

毎週火曜日 午前10時25分～10時50分

### 【表現のいちば】

現在みんなでワークショップをしています。

2017年1月29日にみどりアートパークで発表会をします！



今回は番号です！

みなさま、良いお年を！

マッキーガッパ 画・榎本トオル

### デフ・パペットシアター・ひとみ

やなせけいこ 榎本トオル 善岡修

鈴木文 末永快 鈴木香澄(みー)

大里千尋 吉村衣世



## 訃報

デフ・パペット・シアター・ひとみの演技者、牧野英玄が2016年10月30日、がんのため逝去いたしました。享年33才でした。

2010年デフ・パペットシアター・ひとみに入団、以来6年間人形劇俳優として全国各地での上演や、ろう学校でのワークショップ、「森と夜と世界の果てへの旅」では舞台監督と主人公ジュジュマンを務めました。若手の俳優でありながら、劇団にとってとても大きな存在でした。謹んでお知らせするとともに、生前牧野にご声援いただきましたみなさま、お世話になったみなさまに、あらためてお礼申し上げます。



人形美術家 太田拓美さんが2016年10月11日、逝去いたしました。

デフ・パペットシアター・ひとみ作品では「森と夜と世界の果てへの旅」「はこ /BOXES ～じいちゃんのオルゴール♪～」の人形美術・舞台美術を務めました。氏の独特の感性とのコラボレーションにより、デフ・パペットシアター・ひとみの人形劇は他に無い不思議な舞台となり、全国のお客様へ届けることが出来ました。謹んでお知らせするとともに、ファンのみなさま、お世話になったみなさまに、あらためてお礼申し上げます。



画・榎本トオル